

Art & Culture

イベント情報 ケータイ片手にアート散策!

まだまだ冷たい風が頬をさす日々...
ぬくぬくコタツや、布団の中も良いけれど
思い切って、外へ出て、
アート散策をしてみませんか?

※本誌の掲載情報は平成24年1月20日現在のものですので、その後内容が変更となる場合がございます。予めご了承下さい。
※掲載情報についてのお問い合わせは、各店にお問い合わせ下さい。

せんだいメディアテーク

022-713-4483
仙台市青葉区春日町2-1
9:00~22:00 (各館により異なる)
※第4・5期日・年末年始 閉館 (有料)
http://www.smt.jp

考えるテーブル

人が集い語り合いながら震災復興や地域社会、表現活動について考えていく場を「考えるテーブル」と題して1階オープンスクエアに、トークイベントや公開会議、市民団体の活動報告会など多様な催しを開催中。家具のデザインと制作は、gm projectsの豊嶋秀樹さんが担当。

志賀理江子レクチャー 第9回

〈箱庭—写真と空間の関係、今回の展示について〉
2008年に名取市の北釜に移り住み、作品制作を行いながら国内外の展覧会で発表している写真家・志賀理江子の作品制作や震災後の活動などについて語る連続レクチャー。
時間 / 13:00~15:00
場所 / 1F オープンスクエア
料金 / 無料、申込不要、直接会場へ
【詳細】http://www.smt.jp/thinkingtable/?p=20

志賀理江子 7階のアトリエ

震災後にリニューアルした7階スタジオにて2012年の秋の展覧会に向けた志賀理江子の展覧会のプランを展示。写真家・志賀理江子のような場所として展示を行い、会期中には作家がその場所を使って制作することもある。
場所 / 7F スタジオA
料金 / 無料、申込不要、直接会場へ

てつがくカフェ

「(復興)が/で 取り戻すべきものは何か?」
(要約筆記つき)
自分自身の考えを話し合うこと、話し合う楽しさを体験する、てつがくカフェ。参加者同士がテーマに沿って対話する。
時間 / 18:30~20:30
場所 / 1F オープンスクエア
料金 / 無料、申込不要、当日会場へ
【詳細】http://www.smt.jp/thinkingtable/?p=3080

制作編集支援室

水戸を拠点とするアーティストの中核拠点と、日常生活の「コマをおもしろく、楽しくするアイデア」について考えていく。何気ないユニークなアイデアを一緒に探しながら、ラジオ放送形式のトークイベントと手作り新聞の発行を通して表現していく。
※ラジオ放送形式でのトークイベント
※手作りの新聞の発行 (A3サイズ、現在第3号配布中)
※活動の詳細はウェブサイトをご覧ください。
【詳細】http://www.smt.jp/thinkingtable/?p=18

3がつ11にちをわすれないためにセンター

震災からの復旧・復興の経過を震災アーカイブとして独自に記録した写真、映像、音声などの一部をウェブサイト (http://recorder311.smt.jp/) で公開している。
最新情報、お知らせなどは、下記からご覧いただけますので、ぜひフォローください。
Twitter @recorder311
Facebook http://www.facebook.com/recorder311

わすれんTV311

メディアテークでは、インターネット配信Ustreamや下記ウェブサイトにて、一人ひとりの震災体験を語り直し、震災復興の支援活動について考える番組「わすれんTV311」を配信。また、3がつ11にちをわすれないためにセンターで観覧できる番組もある。
【詳細】http://recorder311.smt.jp/recorder311/

ギャラリー社間道

022-224-7066
仙台市青葉区春日町2-8
11:30~18:30 無料 不定休
なし http://www.tougendo.jp

仙台三越

022-225-7111 (大代表)
仙台市青葉区一番町四丁目8-15
10:00~19:00
無料 年内無休 あり

仙台三越 本館7階 アートギャラリー

2月12日(日) 2月13日(月)~2月16日(木)

— 色彩と優れた造形 —
三岸節子 作品展

激動の時代を生きた、女性の洋画家として初めて文化功労者に顕彰された三岸節子。本展では生涯にわたって描き続けた「花」を中心に、風景画を加え個性と圧倒的な存在感を放つ作品20余点を一堂に展覧。
※最終日は、16:30にて終了
【花】油彩 6号

2月11日(水)~3月5日(木)

— 版画作品に輝く個性と才覚 —
女流画家 版画展

女性として初めて文化勲章受章作家となった上村松園をはじめ、小倉遊亀、片岡球子など、女流画家の第一人者として先頭に立ち活躍した作家たちの版画作品20余点を展覧。
※最終日は、16:30にて終了
片岡球子「富士」
油・UVラック 36.6x47.5cm

2月10日(金)

てつがくカフェ
「(復興)が/で 取り戻すべきものは何か?」
(要約筆記つき)
現在も世界中の人々から愛されている画家、藤田嗣治。愛妻家であったフジタは多数の作品を君代夫人に遺しました。本展ではこの秘蔵コレクションともいえるべき作品を一堂に展覧。
※最終日は、19:00にて終了
「三つ葉の少女」油・UVラック 196x44cm

2月8日(水)~14日(火)

— 藤田夫人に遺されたもう一つのコレクション —
レオナルド・フジタ 版画展

美しいダンサーを描くことに一生を捧げた「現代のドガ」
ロバート・ハインデル展

「現代のドガ」と賞され、2005年に急逝された今もなお、不動の人気を誇るロバート・ハインデル。躍動する美しい姿だけではなくダンサーの感情をも観る人々に感じさせる作品、20余点を展覧。
※最終日は、19:00にて終了
「ダークネス&ライト」シルクスクリーン 66x55cm

2月15日(水)~21日(火)

現代洋画の巨匠 絹谷幸二 新作展

日本芸術院会員として活躍する洋画家、絹谷幸二の新作展。鮮烈な色彩と、大胆な構図は観る人を圧倒する。本展では、新作20余点を展覧。
※最終日は、16:30にて終了
「春の黄金雨」油・UVラック 30号

2月15日(水)~21日(火)

— 木に己を観る —
及川茂 木彫展

宮城県栗田町在住の木彫家、及川茂の新作展。伝統の技を引き継ぎ本質を追究し続け、卓越した技から生み出される独創的な作品を一堂に展覧。
※最終日は、16:30にて終了
【富士】
樟(くすのこ) 高さ24cm

2月22日(水)~28日(火)

— 可憐な色香 —
藤森久一 油絵展

1944年岡山県生まれ。可憐でつややかな女性像を描く洋画家。藤森久一の仙台三越初展。セピア色の画面に佇む探偵や、大団に描かれた女性像など新作20余点を展覧。
※最終日は、16:30にて終了
【夏】油彩 30P

2月9日(水)~15日(火)

— 喜劇・讃歌「鳥海山への想い」 —
高橋啓司 油絵展

仙台在住の油彩画家。高橋啓司の喜劇記念作品展。鳥海山を描き36年、本展では秋田と山形の8ポイントから望む情景の新作40余点を展示。樹木・宇宙をイメージする着をテーマに制作した数々の作品を展示。
※最終日は、16:30にて終了
【絵巻】油彩 横1号

2月16日(水)~22日(水)

— 鹿角島県伝統的工芸品指定 薩摩切子工芸展

江戸末期に薩摩藩で造られた薩摩切子は復元されてから30年余り。クリスタルガラスを使用し、無地の生地の上で表面に色ガラスを溶着させ、卓越した技術を用いた「切子」を施し磨き上げられた作品たち。本展では、漆のきらめきの中にどしどしとした力強さを感じられる「薩摩鹿角切子」の作品を合わせて展示。17日(金)~19日(日)の11時~16時は、切子カット実演も開催予定。
※最終日は、16:30にて終了
花瓶 径26.5x高さ20.0cm

1月27日(金)~2月1日(水)

— 明るい暖色系の新作版画と油絵セール

明るく暖かみのある、海外と日本の新作版画と油絵を集めた作品展。

2月3日(金)~8日(木)

— 春のインテリアのための新作絵画展

これからの季節にぴったりの海外・日本の版画と油絵作品をご紹介します特別セール展。

2月10日(金)~15日(水)

— “花の絵” バレンタインデー特集展

バレンタインデーに贈る、結ばれることのない花の作品を集めたセール展。

2月17日(金)~22日(水)

— 世界と日本の風景を描いた 新作油絵画・版画セール

仙台や東北の山々の風景や、フランス・アメリカ・イタリア・スペイン・ポルトガル・ドイツ・イギリス・スイスの風景を描いた作品を特別価格でご紹介する。

2月22日(水)~28日(火)

— 本館6階 美術工芸サロン —
2月22日(水)~27日(月)

世界を魅了した 明治美術工芸展

18世紀末、海を渡ってヨーロッパのアル・ヌーボーに大きな影響を与え、繊細な美意識と精緻な技で日本美術工芸の水準の高さを世界に知らしめた明治の京産物と本七宝の逸品の数々をメインとした作品を展示。
※最終日は、16:30にて終了

2月2日(水)~7日(火)

— 花咲く地中海とヨーロッパの旅情 —
ベンジャミン・マス絵画展

ヨーロッパの旅情をロマンティックに描くスペインの画家、ベンジャミン・マスの作品展。爽やかに輝く青い空と海、咲き誇る花々を、世界一美しいと言われる地中海のアマルフィ海岸や水の都ヴェニスに描いた油彩画とアクリル画を30余点展示。
【午後のアマルフィ】
油画 12F ※最終日は、16:30にて終了

2月22日(水)~28日(火)

— 可憐な色香 —
藤森久一 油絵展

1944年岡山県生まれ。可憐でつややかな女性像を描く洋画家。藤森久一の仙台三越初展。セピア色の画面に佇む探偵や、大団に描かれた女性像など新作20余点を展覧。
※最終日は、16:30にて終了
【夏】油彩 30P

2月16日(水)~22日(水)

— 鹿角島県伝統的工芸品指定 薩摩切子工芸展

江戸末期に薩摩藩で造られた薩摩切子は復元されてから30年余り。クリスタルガラスを使用し、無地の生地の上で表面に色ガラスを溶着させ、卓越した技術を用いた「切子」を施し磨き上げられた作品たち。本展では、漆のきらめきの中にどしどしとした力強さを感じられる「薩摩鹿角切子」の作品を合わせて展示。17日(金)~19日(日)の11時~16時は、切子カット実演も開催予定。
※最終日は、16:30にて終了
花瓶 径26.5x高さ20.0cm

2月23日(木)~29日(水)

— 仙台伝統新作工芸 プロジェクト 展

国及び県指定の伝統工芸品を制作する若手後継者の会「プロジェクト 匠」。伝統技術に若い感性や新たな手法を取り入れた作品展。
出展者 ●(埋人物) 佐藤明彦 (埋焼乾馬場) 針生和馬 (仙台雑米) 雨一博 (遠刈田系伝統こけし) 佐藤康広 (眼不同、敬称略)
※最終日は、16:30にて終了

022-723-0538

仙台市青葉区一番町1-3-1 コッセ仙台ビル
10:00~20:00 (最終日は19:00まで)
無料 木曜日・年末年始 あり
http://www.tohitech.ac.jp/news/lobby/index.html

1月27日(金)~2月1日(水)

— 風景画と仙台樹生(やなぎ)と紙を用いた ひとみなみかたち展

風景画(植村千枝・石川康子)の創り出す空間を「地」に、薄紙から続く仙台樹生と紙の「ひとみなみかたち」を「図」として採り入れた作品展。暮らしの中のいどりについて意見交換の機会となることを期待して開かれる。

2月10日(金)~2月15日(水)

— 山田大輔・馬渡裕子2人展 ~はえる 生える 映える HaERu~

頭の中に想像が映えてきます。大きくなりすぎたで顔の外へ、日常よく映えるようにと絵を描いて色を塗りたくる。市内コーヒー豆店カレンダー原画、ペイント植木鉢、その他絵画を展示。協力: 杜の未来舎 馬渡裕子「図の方」

2月17日(金)~2月22日(水)

— 笠井祐輔 写真展 「Cassie」

東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科の笠井祐輔が大学4年間で撮りためた写真。このために撮影した写真を展示。卒業制作も写真に取り組んだ写真好きの展示会。

2月24日(金)~2月29日(水)

— K-WORKS 環境情報工学科 卒業研究ポスターセッション

東北工業大学工学部環境情報工学科を卒業予定の4年生が取り組んだ卒業制作を、4年生立ち会いのもとポスターを使って紹介。持続可能な社会づくりに向けて、様々な角度から取り組んだ研究の成果を展示する。

2月25日(木)

— 特別展 —
開館中~3月4日(日)

— 宮城県芸術協会 絵画部門 現審査員作品に見る 継承する力 第一回 —

宮城県芸術協会との共同企画展。今回は宮城県芸術協会絵画展現審査委員の自選作品による「継承する力」を開催。現在審査委員を務める88名のうち、大正10年から昭和11年に生まれた世代から27名の作品を展示。 小崎隆雄「福船」1987年

2月25日(木)

— 特別展 —
開館中~3月4日(日)

— 宮城県美術館・宇都宮美術館所蔵作品による クレーとカンディンスキーの時代

宮城県美術館、宇都宮美術館、新潟県立万代島美術館の三館共同企画。絶妙な色彩構成と重心の奔放さをあわせ持つヴァル・クレーと、絵画で内面的響きを奏でようとしたヴァン・カンディンスキーの二人の作品を中心に、ユークンゲントシュティールからバウハウスまで、20世紀前半の美術を約260点に及び作品でたどる特別展。
観覧料 / 一般 1000円、学生 800円、小・中学生・高校生 300円

2月5日(日)

— 特別展 開館イベント —
2月5日(日)

— 展示解説

美術館の学芸員の方による、展覧会の解説。会場 / 美術館2階展示室入口に集合
時間 / 14:00~
参加費 / 特別展の観覧券が必要(申し込み不要)

2月12日(日)

— 対談 — ふたつの美術館とコレクション

谷 新(宇都宮美術館館長)と西村勇晴(北九州市美術館館長・前宮城県美術館館長)による対談企画。
会場 / 美術館アート・ホール
時間 / 13:30~
料金 / 無料(申し込み不要)

022-713-6230

仙台市青葉区南2-3-13
11:00~18:00 (最終日は17:00まで)
無料 木曜日・年末年始 あり
http://www.bansui-gallery.co.jp/

1月31日(水)~2月5日(日)

— 新春感謝祭

画廊所蔵の作品やリトグラフなどを格安で提供! 毎回好評の展示です。

2月7日(火)~2月25日(日)

— 青年会 震災復興応援チャリティー日本画展

震災により被害が出た方々へ何か応援をしたいという事でチャリティーを開催。青年会という日本画の教室の方々による展示。

2月14日(水)~2月19日(日)

— Happy Valentine! 幸せな気持ちをおあなたにも!

東北生活文化大学での学内コンクールで絵画展賞を受賞した生徒によるグループ展。学生の若いパワーで制作された作品で幸せ気分になってみては?

2月21日(火)~3月4日(日)

— 世界で一番ネコがすきⅢ

今年で3度目となったこの時期恒例の猫だけの作品展。作品は公募で行うので、今年は高校生も?! 出品するかも! 猫好きのみみなさん!!! 是非見に来てみてください!

022-264-6543

仙台市青葉区五橋1-11-23
10:00~17:00 (入館は16:30まで)
一般300円、65歳以上・高校生以下無料
※開館している企画展・常設展すべてご覧いただけます。
月曜日 閉館 あり
http://www.kameimuseum.or.jp

2月25日(木)

— 開館イベント —
2月25日(木)

— ギャリートーク

時間 / 14:00~
参加費 / 入館料のみ(予約不要)

2月25日(木)

— 特別展 開館イベント —
2月25日(木)

— 展示解説

美術館の学芸員の方による、展覧会の解説。会場 / 美術館2階展示室入口に集合
時間 / 14:00~
参加費 / 特別展の観覧券が必要(申し込み不要)

022-211-5733

仙台市青葉区一番町1丁目8-11
白松ビル3F
10:00~19:00 無料 無休 あり
http://www.shimamuki.co.jp

022-223-2370

仙台市青葉区一番町3-1-17
10:30~19:30
無料 年末年始 あり 契約駐車場あり
http://www.shimamuki.co.jp

022-713-6230

仙台市青葉区南2-3-13
11:00~18:00 (最終日は17:00まで)
無料 木曜日・年末年始 あり
http://www.bansui-gallery.co.jp/

022-271-3020

仙台市青葉区北2-7-1
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
月曜(祝日・祭日を除く)は閉館、休日の翌日(土・日曜、祝日の場合は閉館)、第4木曜(12月を除く) あり
http://www.sendai-lit.jp

022-271-3020

仙台市青葉区北2-7-1
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
月曜(祝日・祭日を除く)は閉館、休日の翌日(土・日曜、祝日の場合は閉館)、第4木曜(12月を除く) あり
http://www.sendai-lit.jp

022-295-3956

仙台市青葉区五橋一丁目3-7 (都立公園内)
9:00~16:45 (入館は16:15まで)
入館料 / 一般・大学生200円、高校生150円、小・中学生100円
月曜日(祝日は閉館)、休日の翌日、第4木曜(年末年始(12/28~1/4) あり
http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekimin/

022-224-6543

仙台市青葉区五橋1-11-23
10:00~17:00 (入館は16:30まで)
一般300円、65歳以上・高校生以下無料
※開館している企画展・常設展すべてご覧いただけます。
月曜日 閉館 あり
http://www.kameimuseum.or.jp

022-221-2111

仙台市青葉区川内元支倉34-1
9:30~17:00 (発券は16:30まで)
※常設展 / 一般300円、大学生150円、高校生以下無料
月曜日(祝日は閉館) あり
http://www.pref.miyagi.jp/bijyutu/museum/

022-221-5182

仙台市青葉区一番町3-10-17 慶和ビル3F
11:00~19:00 (土・日・祝は18:00にて終了)
無料 木曜日 あり (お好きな近隣の駐車場、利用可)
http://www.mni.ne.jp/~gallerysendai/

022-263-7868

仙台市青葉区中央2-5-10 桜井薬局ビル3F
http://www.sakura-centralhall.jp
通常料金 / 一般1800円、学生1500円
60歳以上1000円
※作品ごとの入れ替え・別料金となります。
※各種割引あり。詳しくはお問い合わせください。

022-211-5733

仙台市青葉区一番町1丁目8-11
白松ビル3F
10:00~19:00 無料 無休 あり
http://www.shimamuki.co.jp

022-713-6230

仙台市青葉区南2-3-13
11:00~18:00 (最終日は17:00まで)
無料 木曜日・年末年始 あり
http://www.bansui-gallery.co.jp/

022-271-3020

仙台市青葉区北2-7-1
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
月曜(祝日・祭日を除く)は閉館、休日の翌日(土・日曜、祝日の場合は閉館)、第4木曜(12月を除く) あり
http://www.sendai-lit.jp

022-271-3020

仙台市青葉区北2-7-1
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
月曜(祝日・祭日を除く)は閉館、休日の翌日(土・日曜、祝日の場合は閉館)、第4木曜(12月を除く) あり
http://www.sendai-lit.jp

2月6日(月)公開

— シャッフル

何が本当で、何が嘘なのか... 二転、三転し先の見えないストーリー展開、見る者の脳も「シャッフル」する!

2月19日(日)公開

— 無言歌

彼女はだまされたのだろうか、彼ら自身の政府に... 中国映画界の鬼才、ワン・ピン監督が挑んだ中国本土では上映禁止となった歴史ドラマ。

3月4日(日)公開

— 明りを灯す人

心にも明りを 名もなき電気工の物語 キルギスの小さな村、穏やかな時間が流れる田舎の村に 変化が起きようとしていた...

022-263-7868

仙台市青葉区中央2-5-10 桜井薬局ビル3F
http://www.sakura-centralhall.jp
通常料金 / 一般1800円、学生1500円
60歳以上1000円
※作品ごとの入れ替え・別料金となります。
※各種割引あり。詳しくはお問い合わせください。

022-211-5733

仙台市青葉区一番町1丁目8-11
白松ビル3F
10:00~19:00 無料 無休 あり
http://www.shimamuki.co.jp

022-713-6230

仙台市青葉区南2-3-13
11:00~18:00 (最終日は17:00まで)
無料 木曜日・年末年始 あり
http://www.bansui-gallery.co.jp/

022-271-3020

仙台市青葉区北2-7-1
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
月曜(祝日・祭日を除く)は閉館、休日の翌日(土・日曜、祝日の場合は閉館)、第4木曜(12月を除く) あり
http://www.sendai-lit.jp

022-271-3020

仙台市青葉区北2-7-1
9:00~17:00 (入館は16:30まで)
月曜(祝日・祭日を除く)は閉館、休日の翌日(土・日曜、祝日の場合は閉館)、第4木曜(12月を除く) あり
http://www.sendai-lit.jp

